

内定者 INTERVIEW

総合職

ユニ・チャーム株式会社

内定

松本 洸之助 さん
Matsuki Kounosuke

国際食料情報学部
国際バイオビジネス学科 4年

「自分はどんな仕事をしたいのか。」
それを掘り下げることが、進路を拓いてくれた。

就職活動において心がけていたことは、自分の価値観と就職活動の軸を大切にすることです。私にはもともと社会の多くの人々をターゲットとするような仕事をしたいという想いがあり、それを軸としていくつかの業界を研究していました。その過程で、全世界の老若男女やペット向けの商品を取り扱う日用品（トイレタリー）メーカーの業界に出会い、社会的影響力の高さと生活に不可欠な商品を提供する社会貢献度の高さに惹かれました。中でも、ユニ・チャームは2030年までに世界シェアNo.1そして世界で一番貢献している不織布・吸収体メーカーを目指すという明確なビジョンを打ち出しており、インターンシップを通して社員の方々の目標達成に向けた熱意を実感したことで、私自身がその一員になりたいと思うようになりました。

学科の実地研修では、愛知県豊橋市のキャベツ農家で収穫・箱詰め・出荷の工程を経験しました。1人で収穫から箱詰めを行うのではなく分担して作

業を行うことで生産性が上がることを実感しました。この経験から、「チームワークの大切さ」を学び、就職活動のエピソードでも自分をPRできました。また、チームワークの際には「相手の目線になって考えることの重要性」も学ぶことができました。就職活動に応用すると、面接官の気持ちになって面接で話す内容を改める事ができたのも、就職活動のコツだったと思います。

これから就職活動を始める皆さんが、自分の志望する業界や企業に出会うまでは、いろいろな迷いや困難があると思います。農大ではエントリーシートの添削や面接指導など様々なサポートがあるので、自分ひとりで抱えすぎず、キャリアセンターの方や友達、研究室の先生など周りにいる人達に相談してみてください。きっと進路選びのヒントとなる気づきや発見があると思います。就職活動は大変ですが、自分自身を見つめ直す貴重なタイミングともなるので、自分の身体を大切に決して無理せず自分のペースでがんばってください。

ワタシの進路のを見つけ方

就職活動全体の流れにおける自分の立ち位置を確認するために、キャリアセンターのガイダンスや個別相談などを利用し、志望する業界・企業が決まったあとは、キャリアセンターの方にエントリーシートの添削や面接指導をして頂きました。エントリーシートについては、添削をして頂いたことで通過率が大幅に上昇したので、これから就職活動をされる方は、一人でも多くの方に見てもらおうことをおすすめします！

